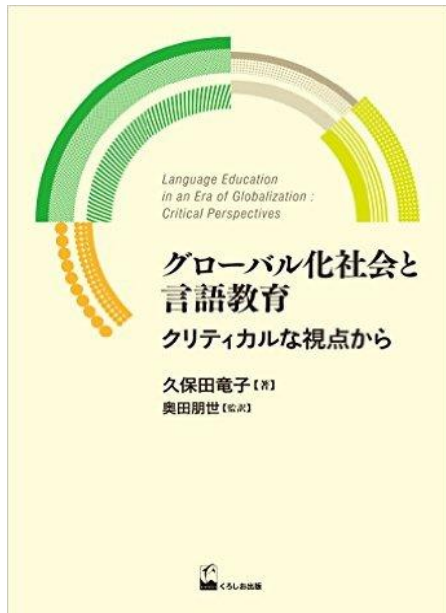


第 43 回言語文化教育研究学会月例会

第 3 回研究集会 IN 香港—言語教育の「商品化」と「消費」を考えるシンポジウム— プレ企画



久保田竜子

『グローバル化社会と言語教育』 を読む

来る 7 月 16-17 日に言語教育の「商品化」と「消費」を考えるシンポジウム(第 3 回研究集会 IN 香港)が開催されます。シンポジウムにおいては、「商品化」と「消費」がそれぞれ次のように定義されています。

「商品化」:ある物や活動が経済的行為と結びつき、価値を持つようになること。

「消費」:人々が商品化された物や活動に対価を支払い、手に入れ、欲望充実やアイデンティティ構築のために費やすこと。

第 43 回月例会では、上記のシンポジウムのプレ企画として、基調講演者の一人である久保田竜子氏の著作『グローバル化社会と言語教育—クリティカルな視点から—』(くろしお出版)所収の次の論文を題材に「言語教育の「商品化」と「消費」」に関し、議論します。

第 4 章 言語道具主義への問い—英語・新自由主義・日本における言語テスト—

第 5 章 余暇活動と消費としての外国語学習—楽しみ・願望・ビジネス英会話を考える—

私たち言語教育に携わる者は、外国語の商品としての側面や外国語学習の消費としての側面を看過しがちです。一方で、現代社会において、言語教育と経済的行為は切っても切れない関係にあります。本月例会では、上記の論文を媒介に、参加者それぞれが言語教育の「商品化」と「消費」にどのように向き合うかに関し、つっこんだやりとりができればと思います。

なお、本月例会には、『グローバル化社会と言語教育』の翻訳協力者である佐野香織さん(早稲田大学)、瀬尾匡輝さん(茨城大学)、瀬尾悠希子さん(大阪大学大学院)、米本和弘さん(東京医科歯科大学)が参加されます。

・日時:2016 年 6 月 25 日(土)18:00~19:45

※当初の予定より変更いたしました。ご注意ください。

・会場:早稲田大学早稲田キャンパス 22 号館 615 教室

・参加費:無料

・予約:不要(当日、直接会場にお越しください。)

・お問い合わせ:monthly@alce.jp(月例会委員会事務局)